



令和3年5月31日

# はじめのいっぽ

令和3年度  
6月号

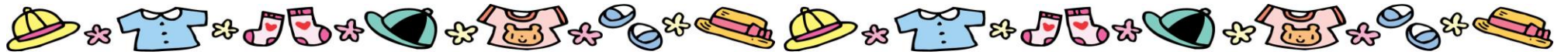
認定こども園  
東野田ちどり保育園  
東野田ちどりキッズ・庁舎内  
江川 永里子

～いつもの5月～

大阪の街は緊急事態宣言が再延長から再々延長となりました。  
 家庭保育協力をして下さっている方々には心より感謝致します。  
 コロナ変異株が猛威を振るっています。  
 皆様の日頃のご尽力のおかげで東野田ちどりにおいては、今日迄園児・職員  
 共にコロナ陽性者は出ていません。  
 ワクチン接種によりやく勢いがつき始めました。  
 65歳以下が全員ワクチン接種終了する迄もう少し時間が必要です。  
 今一度「出来る事」を全てやり続けたいと思います。  
 自然の力は心を癒してくれます。いつも通り里帰りしてくれたツバメ達はヒナが成長し巣立ちました。  
 4つ目の巣作りをしています。  
 三週間早くなった梅雨入りです。夏野菜の実りを心配しながら毎日観察しています。  
 オクラ・キュウリ・トマト・ブロッコリー・ナスの収穫を楽しみにしています。



2021年合わせて10羽の巣立ち



～ アドラー より ～

## さらに子どもの話を聴く

### 5.開いた質問を使う

質問には「はい」「いいえ」で答えられる＜閉じた質問＞と、「はい」「いいえ」だけでは答えられない＜開いた質問＞とがあります。このうち、開いた質問は、人の話を聞かるときに、とても便利です。

開いた質問とは、5W1H といって、「いつ?」「どこで?」「だれが?」「なにを?」「なぜ?」「どんなふうに?」というようなことばを使った質問です。ただし、このうちで「なぜ」はあまり使わない方がいいでしょう。

5W1H の他に、「それで?」「それから?」「もう少し話してくれる?」というような言い方も、開いた質問の一種です。

また、「どういうことがあった?」「どう考えた?」「どう感じた?」「どうしようと思う?」というような開いた質問を続けて使うと、子どもを援助する効果が大きいことがあります。

### 6.子どもの考えを推量する

＜閉じた質問＞は、子どもの考えを聴くためよりは、むしろ、こちらの考えを子どもに伝えるために使います。たとえば、「あなたは～と考えているのかな?」とか「あなたは～と感じているのかな?」というように。

もしこのような推量が当たっていると、子どもは「親は私の仲間なんだ」と感じて勇気づけられるでしょう。あるいは、言われてはじめて自分がそんなふうに考えていることに気がつくかもしれません。そうすると、自分の考えをまとめることができます。

もしこのような推量がはずれていると、子どもは「違うよ」というでしょう。これは、子どものほんとうの考えを聴くきっかけになりますし、親子間の理解が深まるきっかけにもなります。

### 7.あなたの考えを伝える

子どもの話をじゅうぶんに聴いてからであれば、あなたの考えを伝えることもできます。できれば、「私の考えを言ってもいいかな?」と尋ねて、子どもが聞きたいと言ってから言うのがいいと思います。「聞きたくない」と言われれば、引き下がる勇気を持ってください。

子どもがあなたの意見を聞きたいと言ったときも、「それは～だ」と事実として言うよりも、「私は、それは～だと思う」というように、意見であることがわかるように言う方がいいと思います。